



RSKテレビ60周年

木梨憲武展

Timing — 瞬間の光り

2019年1月19日 ▶ 3月31日 10:00~18:00
 (最終入場 17:30)

【休館日: 2月25日(月)、3月4日(月)、11日(月)】

岡山シティミュージアム4階展示室

主催: 岡山シティミュージアム、RSK山陽放送
 特別協力: コッカ 協賛: ソニー・ミュージックエンタテインメント
 企画制作: 産経新聞社、imura art planning



ORITAKE KINASHI

Timing
—期間の光り—

木梨憲武展

2018 ▶ 2020



2014年から2016年にかけて全国8会場を巡回し大きな話題を呼んだ「木梨憲武展×20years」から2年。アーティストとして高い評価を受けた木梨憲武は、2018年6月、自らも得意とするストリートカルチャーの発信地、イギリス・ロンドンでの個展開催を実現するなど、ますます活躍の場を広げています。本展では、ロンドンで披露した新作を中心に、絵画、ドローイング、映像、オブジェなど、表現方法に縛られない150点以上の作品を展示します。さらに自由に、さらに鮮やかになった作品をぜひご覧ください。

また全国美術館ツアー、始まっています。前回から会場数も増え、ロンドン初個展も開催しました。たくさんの会場で見てもらえるのが楽しみです。線と色での表現を「木梨憲武×20years」に来てくれた人も、初めての人も、みんなに楽しんでもらえる作品、新作そろえています!! 2020年、東京オリンピックの年、上野の森美術館まで開催します! みなさん、遊びに来てください。

木梨憲武



PROFILE



木梨憲武(1962年~)、東京生まれ。とんねるずとして活躍する一方、アトリエを持ち画家としても活動している。1994年に「木梨憲太郎」名義で名古屋で開催した初個展『太陽ニコニカ展』から日本国内では今回で実に9度の個展を開催。2015年にはニューヨークでも個展を開き、話題になった。

1《REACH OUT》(部分) 2018年 2《感謝》2013年 3《フェアリーズ》(部分) 2015年 4《Kiss》1999年 5《Mt. FUJI》2015年 6《窓》2015年 7《OUCHI-光り》2017年 8《お手月 REACH OUT》2008年 9《とりのうた③》(部分) 2014年 ©NORITAKE KINASHI

入場料(当日券) 一般(大・専門生含む) 1,200円 中・高校生 800円 小学生以下無料

※20名以上の団体は当日料金から各100円引き(有料対象者のみ適用)
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をご持参の方と
その付き添いの方1名は無料

入場料(前売券) 一般(大・専門生含む) 1,000円 中・高校生 600円

先行販売:12月7日まで ●セブンチケット、ローソンチケット(Lコード 62542)、チケットぴあ(Pコード 769-443)
一般販売:12月8日~2月18日 ●岡山シティミュージアム 5階受付、岡山県内の主要プレイガイド、セブンチケット、ローソンチケット(Lコード 62542)、チケットぴあ(Pコード 769-443)

早期割引一般ペア券 1,800円 ※11月17日からセブンチケットで限定300組販売。
なくなり次第終了。1枚ずつでも使用できます。

後援: 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、香川県、香川県教育委員会、岡山県郷土文化財団、岡山市連合婦人会、公益社団法人岡山県文化連盟、岡山県美容生活衛生同業組合、産経新聞岡山支局、山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、読売新聞岡山支局、毎日新聞岡山支局



岡山シティミュージアム
〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1
TEL 086-898-3000
FAX 086-898-3003

岡山シティミュージアム
岡山駅前中央改札を出て西に直進。東西連絡通路を西に進むと左手に岡山シティミュージアムが見えます。
※専用駐車場、契約駐車場はございません。

<http://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/>

公式HP <http://www.rsk.co.jp/event/kinashiten/>
問い合わせ RSK企画事業部 086-225-7300

RSK 木梨展 検索